

IATSS NEWS

学会通信 国際交通安全学会

- IATSS Research Vol. 41, Issue 2発行
- 第57回IATSSフォーラム修了

IATSS Research Vol. 41, Issue 2 発行

IATSS Research Vol. 41, Issue 2が発行されました。特集テーマは“Safe and Sustainable Transport for All”です。Elsevier Ltd.のサイトより、無償で全掲載論文のダウンロードが可能です。

▶<http://www.sciencedirect.com/science/journal/03861112/41?sdc=1>

<Special issue: Safe and Sustainable Transport for All>

N. Tyler

Safety accessibility and sustainability: The importance of micro-scale outcomes to an equitable design of transport systems

N.N. Sze, Keith M. Christensen

Access to urban transportation system for individuals with disabilities

Fumihiko Nakamura, Kazumi Ooie

A study on mobility improvement for intellectually disabled student commuters

Tomoyuki Inagaki, Shoichiro Fujisawa, Kazuya Takahashi, Norihiro Ikeda, Kiyohito Takeuchi,

Hiroshi Ogino, Satoru Kobayakawa

Experimental observations on the optimal layout of orientation blocks for safe road crossing by the visually impaired

Andrew Davies, Nicola Christie

An exploratory study of the experiences of wheelchair users as aircraft passengers – implications for policy and practice

Kento Yoh, Tsutomu Okamoto, Hiroto Inoi, Kenji Doi

Comparative study on foreign drivers' characteristics using traffic violation and accident statistics in Japan

第57回IATSSフォーラム修了

IATSSフォーラムは、1985年より東南アジア9カ国（カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム）から研修生を招き、次世代若手リーダー育成のための研修を行っています。

修了生達（56回までの累計：976名）は、政府機関、大学、企業、NPO等で活躍すると共に、各国、地域の課題に対応すべくボランティア活動にも積極的に参加しています。

第57回は2017年5月20日から、9カ国18名が参加して始まり、途中日本人聴講生も1名加わりました。

鈴鹿を拠点に、鳥羽、神戸、京都、東京を訪問し、政治、環境、交通他のセミナー、視察、国際交流、ケーススタディ等、55日間の研修を行い、7月8日には無事修了式を迎える事ができました。

研修テーマとして「持続可能な地域・社会づくり」を設定し、武内会長による導入セミナーを始めとして、事例研究、その他講義を

通し、地域・社会をより良くするために何が必要なのか、住民・企業・行政がどのように連携すべきか「共に考え、共に学ぶ」を実践しました。

文化的背景・専門分野の異なる研修生たちは積極的に知識を共有し、切磋琢磨しながら真剣に研修に取り組みました。その成果として、研究発表会では各グループより以下の三つのプロジェクトが提案されました。

1. 食品廃棄物の削減から、環境問題への意識向上、更には、健康的なライフスタイルの提案まで、包括的な人々の意識改革を考えた“Eat All, Waste Less, Stay Healthy”プロジェクト
2. 若者の離職率の減少と、変化の激しい社会に対応できる人材育成を目指す“Right Track”プロジェクト
3. ワークショップを通し、ごみ問題に対する意識向上と一市民としての社会的責任を意識づける“Up-cycling”プロジェクト

研修生の中には、さっそくこれらのアイデアを自国に持ち帰り、同窓会と連携し実現させようという動きも出ています。

研修生からIATSSフォーラムのリーダーシップ研修に対する生の声を聞く機会である、振り返り会では、「日々の業務の中では経験できない、国、文化、バックグラウンドの異なるフォーラムのユニークな環境で、共に学び、成長出来たことに感謝している。」
「フォーラムでの経験は、他の研修生を理解したり自己発見の機会であると共に、リーダーとして必要なスキルやマインドを学びながら実践する最高の場であった。」など、多数の賞賛の声を聞く事ができました。

研修生各々が研修中に培われた知識・体験・人との絆を活かし将来を担うヤングリーダーとして、更に成長しグローバルに活躍してくれる事を期待しています。



▲修了式の前に行われた研究発表会の様子



▲民族衣装で修了式に参加する研修生